

メタバースの投資テーマ①

グローバル仮想世界株式戦略ファンド

愛称：フューチャーメタバース

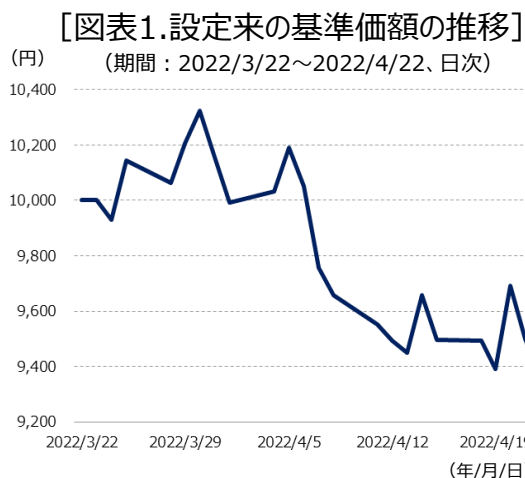
追加型投信/内外/株式

- 当ファンドの**4月22日現在の基準価額は1万口当たり9,375円**となりました。円安の恩恵を受ける一方、米国でインフレ抑制のため当局が急速な金融引き締めを行うとの観測が株価の頭を押さえる要因となりました。
- 本レポートでは、当ファンドの主要な投資先ファンドである「グローバルメタバースファンド（円建て、ヘッジなしクラス）」の運用会社であるニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シーの投資テーマに関するコメントや、同ファンドを担当するポートフォリオ・マネージャーのコメントを紹介いたします。

設定来の基準価額の推移と投資環境

当ファンドの4月22日現在の基準価額は1万口当たり9,375円となりました。設定（2022年3月22日）来の推移を見ますと、3月中は堅調に推移しましたが、4月に入ると値を下げる展開となり、足元では9,000円台でもみ合う動きとなっています。

この間の投資環境を見ますと、3月中はロシア・ウクライナ間の軍事衝突に対する過度な悲観論が後退し、世界的に株価が持ち直す動きとなりました。しかし4月に入ると、キウ近郊で民間人犠牲者が多数見つかり欧米が対口制裁を強化したこと、また米金融当局が金融引き締めを急ぐとの観測などが悪材料視され、株価は下落しました。その後は、国際通貨基金（IMF）による世界経済の見通し引き下げなどが嫌気される一方、急速な円安の進行が基準価額の下値を支える展開となっています。



仮想世界への扉を開く「鍵」：ヘッドマウントディスプレイ（HMD）

【メタバース離陸の号砲が鳴る】

メタバースへの注目が急速に高まり、大手IT企業が競って参入を表明している背景の一つに、**ヘッドマウントディスプレイ（以下HMD）**の性能進化と価格低下が挙げられます。HMDとは、ゴーグルやメガネ形状のディスプレイを頭部に装着することで、立体的な仮想空間を映し出すデバイスです。

従来、HMDはプロ用・業務用の特殊な製品であり、例えば2008年頃に自動車産業向けに開発されたモデルには数千万円という価格帯のものもありました。それが、2016年に米オキュラス社（現在はメタ・ブラットフォーム傘下）が、**599ドル**という低価格で消費者向けHMDを発売したことで、一気にメタバース時代の到来が現実味を帯びてきたのです。まさに、**仮想世界の「鍵」といえるキーデバイスこそが、HMD**なのです。

HMDで「没入」する仮想世界のイメージ



＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

ヘッドマウントディスプレイ（HMD）の内部に迫る！

メタバース世界に「没入」するために装着するHMDですが、様々なイノベーションが、この革新的デバイスを支えています。パソコンやスマートフォンの2次元映像とは異なり、HMDでは映像が3次元であることに加え、ユーザーの「動き」が映像に有機的な変化を与えるため、乗り越えるべき技術的ハードルも高いといえます。HMDは「頭の向き」や「位置」といった情報を検知する上で、加速度センサーやジャイロ스코プといった慣性計測装置が使われています。また、視野を広角にするために魚眼レンズが使われていますが、そのためには視界の端々まで歪みを出さずに見せるための様々な工夫と技術が必要です。加えて、ただでさえデータ量が多い3次元の映像にユーザーの「動き」という要素が加わる中、遅延なく映像を変化させて自然な動きに見せるには高性能プロセッサが不可欠です。これらの技術領域はHMDの「没入感」を左右します。このような領域で技術優位性のある企業は、メタバース時代の勝ち組企業として名乗りを上げることになると考えています。



【HMDの構造：主要部品と関連企業】

主要部品	概要	関連企業例*
① 光学部品（レンズ）	魚眼レンズ。ディスプレイを歪ませ、視野を広角にする役割	・サニーオプティカル・テクノロジー（中国） ・ジニアス・エレクトロニク・オプティカル（台湾）
② ディスプレイ	映像を投影する装置。優れた応答速度と高精細が現実感を高める	・サムスン電子（韓国） ・京東方科技集団（中国）
③ 音響部品	音量や音の方向などを調整し、臨場感のある音環境を提供	・AACテクノロジーズ（中国） ・立訊精密工業（中国）
④ 半導体（プロセッサ）	仮想空間の映像と頭や目の動きといった情報を処理・統合する役割	・クアルコム（米国） ・インテル（米国）
⑤ 半導体（その他）	電力効率化のためのパワー半導体やディスプレイに電力を供給するドライバICなど	・オン・セミコンダクター（米国） ・シナプティクス（米国） ・ノルディック・セミコンダクター（ノルウェー）
⑥ センサー	ユーザーの視線や身体の向きを察知する各種センサー	・ランドマーク・オプトエレクトロニクス（台湾） ・ゴーアーテック（中国）

※ 青字は投資先ファンドにおける保有銘柄（2022年3月末時点）。上記の個別銘柄はあくまで説明のための例示であり、投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。また、特定銘柄の売買等の推奨、価格等の上昇や下落を示唆するものではありません。

【HMDの普及によって恩恵を受ける銘柄に注目】

スマートフォンと同様、HMDも様々な電子部品メーカーが得意分野でしのぎを削り、納入競争を繰り広げています。投資チームでは、それぞれの得意領域で優位性があるHMD向けサプライヤー関連銘柄に注目しています。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

投資先ファンドにおけるHMD関連の投資銘柄例のご紹介

クアルコム（米国、メタ・デバイス関連）

メタバース

×

HMD

業種：半導体・半導体製造装置

(GICS産業サブグループ：半導体)

【運用チームによる銘柄選択の主なポイント】

◎ 企業概要

- 1985年に創業した半導体メーカー。高品質な通信（**Quality Communication**）が社名の由来で、通信技術の高度化を支えてきた歴史を持つ。
- 2000年代後半から「**スナップドラゴン**」と呼ばれるチップセットを投入。アプリケーションや通信機能のみならず様々な機能を担う半導体の一つに集約した「**SoC（システム・オン・チップ）**」として、**世界中のスマートフォンメーカーに納入実績**を持つ。
- スマートフォンの早い製品サイクルに合わせてチップセットを刷新しており、**製品開発のスピードが強い**。

〔図表2.クアルコムの株価推移〕

(米ドル) (期間：2018/1/2～2022/4/21、日次)

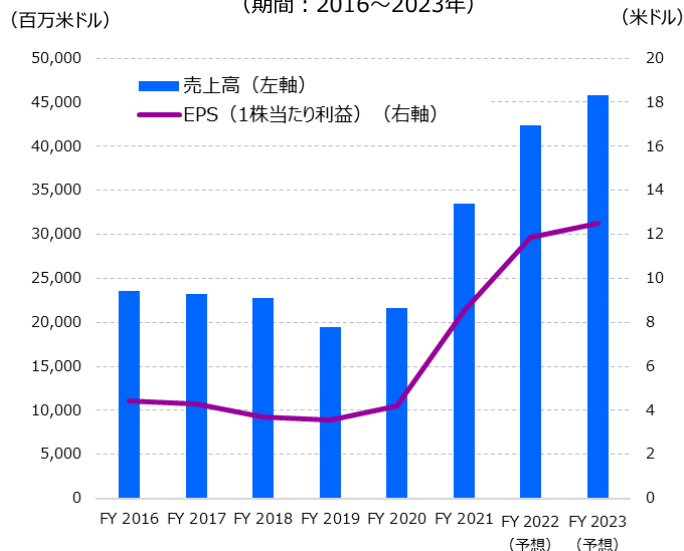


◎ 投資のポイント

- 同社は近年スマートフォン以外の製品領域への積極展開を進めており、**HMDチップセットは特に成長が期待される領域**。
- HMDのメインプロセッサでは支配的な市場シェアを有しており**、今後HMD市場の拡大が業績成長の牽引役となる見通し。
- メタバース領域のベンチャー投資を手掛ける「**スナップドラゴン・メタバース・ファンド**」の設立も発表しており、先進技術にも着実な布石を打つ。

〔図表3.クアルコムの売上高・EPSの推移〕

(期間：2016～2023年)



(出所)Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

※ 上記の個別銘柄はあくまで説明のための例示であり、投資先ファンドの組入れを示唆・保証するものではありません。また、特定銘柄の売買等の推奨、価格等の上昇や下落を示唆するものではありません。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

投資先ファンドのポートフォリオ・マネジャーのメッセージ

皆様、はじめまして。

私は当ファンドの共同ポートフォリオ・マネジャーを務める、ニューバーガー・バーマンの**フェリックス・チェン**と申します。ニューバーガー・バーマンに加入する以前は、アブダビ投資庁にて運用担当をさせていただいておりました。今回は、当ファンドの情報提供用資料でご挨拶の場を設けていただくことができ、運用チーム一同、大変感謝しております。

■ 「メタバース」はもう一つの世界

HMDを通じて「没入」する仮想世界、そこで展開される様々な生活体験は、正に「**もう一つの世界**」と呼ぶにふさわしい広がりを持つと見られています。人々は、仮想世界で仕事、人付き合い、買い物などをする事になり、そこには巨大なビジネス機会が広がっています。既に仮想世界におけるデジタル区画、つまり「デジタル不動産」が驚くような価格で取引されるなど、これまでのインターネット空間では見られなかった「デジタル空間での所有権」という概念が生まれています。デジタル空間上のモノやサービスに金銭的な価値が付与され、また**現実世界と有機的に結びつきながら生まれる巨大な「バーチャル経済圏」** - これが、世界のIT大手がメタバースを「次の主戦場」と位置付ける理由であるといえるでしょう。

■ 高まるメタバース関連企業への注目

バーチャル経済圏での橋頭保を築くために、業種を問わず多くの企業が投資競争にその身を投じています。昨年の12月、スポーツ用品大手のナイキはアバター（仮想空間上の分身）向けにバーチャル・スニーカーを提供するアパレル企業、アーティファクトの買収を発表しました。2022年の1月、マイクロソフトはゲームソフト大手、アクティビジョン・ブリザードの買収を発表しました。また、2月にはソニーグループがゲームソフト企業のバンジーの買収を発表しました。いずれも、メタバースに関連したコンテンツや開発人材の囲い込みが狙いであり、**今後もメタバース関連企業への注目は高まる**と考えています。

■ 当ファンドの運用について

運用チームでは、メタバースを構成する「**サービス**」「**デバイス**」「**インフラ**」といった領域に注目し、それぞれの領域における勝ち組企業に投資をしています。ロシア・ウクライナ情勢やインフレ懸念といったマクロの材料で変動性が高まる市場環境の中、**中長期的な成長性が高いメタバース関連企業の投資魅力は高まっている**と考えています。引き続き、徹底したボトムアップリサーチを通じ、投資家の皆様にリターンをお届けできるように鋭意取り組んで参ります。末永く、当ファンドをご愛顧いただければ幸いです。

ニューバーガー・バーマン
グローバルリサーチ部門
ポートフォリオ・マネジャー
フェリックス・チェン



※ ニューバーガー・バーマン ポートフォリオ・マネジャーからのメッセージは2022年4月21日現在のもの。

※ 本資料のデータ・分析等は過去の実績や将来の予測、作成時点におけるニューバーガー・バーマンの判断を示したものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

<作成：運用本部>

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

グローバル仮想世界株式戦略ファンド(愛称 フューチャーメタバース)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品、金融債、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが見込まれる場合も同様です。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料：購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3% (税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。

- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用(信託報酬)
：純資産総額×年率1.298%(税抜1.18%)
運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担
：純資産総額×年率1.948%程度
実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0132% (税抜0.012%)
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用を信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用を間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

グローバル仮想世界株式戦略ファンド(愛称 フューチャーメタバース)
販売会社一覧

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。
 なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

(2022年4月25日現在)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
JIA証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

<本資料に関するお問合わせ先>

 フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)